



マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度 R I 会長

Rotary 

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 1

会長/President 飯島 芳 臣
幹事/Secretary 阿久澤 公
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 泉 省 平
第 1 週 2019年7月5日(金)
例 会 毎週金曜日 12時30分
例 会 場 ニューサンピア
事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
T E L 027-328-3371
F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisymphony-rc.org>
E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局/Office worker 浅見 洋子
本日のプログラム 会長の日
会長の年度目標・役員挨拶
君が代、奉仕の理想
ロータリーソング

第1057回例会報告
第2週6月14日(金)
プログラム クラブ協議会 理事役員退任挨拶

御来訪者/Visitor なし

出 席 報 告	
会 員 数	47 名
出席計算人数	46 名
本日出席者	33 名
本日出席率	71.74%
先々週出席率	休 会

幹事報告/Secretary Report
・地区研修・協議会御礼(森田ガバナーエレクト)
・事務局並びに例会場住所変更について(沼田RC)
・ハイライトよねやま

ニコニコBOX/Donator Niconico Box
小野垣義男君(一年間大変お世話様でした)
松本 慎悟君(6月結婚記念祝)
安藤 淳君(6月配偶者誕生日祝)
福田 泰久君(5月結婚記念祝)

ロータリー財団BOX/Donator Rotary Foundation
柴崎 晟君 西園 勲君 林 章君
井汲 憲治君

米山奨学会BOX/Donator Yoneyama Scholarship
柴崎 晟君 三浦 敦朗君

次回例会予告
7月12日(金) 通常例会
クラブ協議会「各委員長挨拶」



クラブ会長の
計画および目標

高崎シンフォニーロータリークラブ
2019-2020年度 会長 飯島 芳臣

2019-2020年度 R I テーマ
"Rotary Connect the World"
「ロータリーは世界をつなぐ」

2019-2020年度マーク・ダニエル・マローニー R I 会長は、「ロータリーは世界をつなぐ」という R I テーマを発表されました。

2019-2020年度 R I D2840地区
森田高史ガバナーの地区スローガンと地区目標
「クラブ イノベーション」
CLUB INNOVATION
~クラブの将来像を明確にし クラブ改革を実践しよう~

高崎シンフォニーロータリークラブは、これらを受けて本年度の自クラブスローガンと活動方針、目標を以下のように設定致しました。

ロータリーの『伝統ある規範と近代への変革の融合』
2020年には、日本のロータリー誕生より100年を迎えます。

伝統を受継ぐことは、大変意義のあることで守って行かなくてはなりません。

しかし反面、時代に沿った対応もまた必要です。重要なことは伝統を重んじ、時代に沿った運用をしていくことですが、一歩そのバランスを間違えると格式のない行動となってしまいます。

融合のバランスがなにより重要であると考え『伝統ある規範と近代への変革の融合』をスローガンに掲げ、仲間の会員を増強して楽しく、ステータスシンボルとしての会員を目指し、クラブの運営に会員



の皆様とともに一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

具体的クラブの目標

- **明るい未来のために素晴らしいビジョンを作る**
(戦略計画を作成する)
 - ・目標、その計画なくして実行なく、成功はありません。クラブの仲間と夢を実現するために、具体的な目標を作り、そして理想的なビジョンを作り、実施計画を立てる。
- **仲間を増やそう (会員増強)**
 - ・会員増加率は5%増を達成する。
 - ・若手会員はクラブの未来です。彼らの参加を促す。
 - ・女性会員を増やす。
- **ロータリーを楽しもう そして仲間と語ろう**
(退会防止)
 - ・ロータリー活動の第一歩は例会に出席することです。そこでの仲間との出会い、交流、親睦は生涯の財産です。例会、研修、セミナー、奉仕活動などすべてが自己の研鑽に繋がります。せっかくの機会を活用し、人生にとって有意義な経験を得ましょう。
 - ・例会に出席しよう。そして他クラブにも積極的にメークする。
 - ・地区大会、各種の研修会、セミナー等に積極的に参加して自己研鑽に励む。
- **ロータリーを知ろう (研修の強化)**
 - ・ロータリーは知れば知るほど面白くなります。4つのテストに代表されるように、ロータリーは自らの行動をより良い方向へと導いてくれます。自らが誇れるロータリアンになるためにロータリーをもっと勉強しましょう。
- **ロータリーを知らせよう (公共イメージアップ)**
 - ・地域社会の人たちはロータリーをどれだけ理解しているのでしょうか。私たちは世界に対して良いことを続けて来ましたか？
 - しかし残念ながらロータリーに対する公共イメージは低いものがあります。これをなんとか改善しなくてはなりません。
- **奉仕活動の意義を再認識し、充実させよう (奉仕活動の充実)**
 - ・ロータリーの五大奉仕部門の活動はロータリーの柱です。これを充実させることは自分たちが社会に良いことをするという意識を共有し、親睦を深めることが大切なことです。
- **私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう (奉仕活動と公共イメージアップ)**
 - ・寄付金は善意溢れる小さな好意です。でもそれが集まると大きな事業が出来ます。社会に貢献することは私たちの使命です。
 - そのためには、
 - ①ロータリー財団からの補助金を積極的に活用する。

②世界平和のために米山奨学金を利用し、留学生を支援する。

数値目標

1. 新規会員数 4名 (純増3名以上)
2. 退会防止 5%以下
3. ロータリー財団
 - ・年次寄付 1人 150ドル以上
 - ・ポリオ寄付 1人 30ドル以上
4. 米山奨学金寄付 1人 16,000円以上

退任挨拶



豊泉会長



船渡川副会長



島崎副会長



小野垣幹事



柴崎副幹事



齋藤会員組織委員長



長井奉仕プロジェクト委員長



高橋公共イメージ委員長



西野財団委員長



手島 S A A